

赤れんが通信



北海道庁の金昭賢(キム・ソヒョン)国際交流員が、韓国の友好地域との交流事業及び北海道の情報などについて書いたレポートをご紹介します。

北海道もようやく秋の気配を感じる頃となりました。年々北海道でも夏の季節の存在感が強くなっているような気がします。今年の夏は何度も記録的な大雨が降ることもあり、じめじめとした梅雨のような天気がかかなり長い間続きました。北海道は「夏がとても涼しい」、「梅雨がなくて快適に過ごせる」という言葉も昔話のように思われますが、3か月後、重たいダウンジャケットを着て、滑らないように雪道を恐る恐る歩いていると、この季節がまた懐かしくなるかもしれません。

黄金色の波のようなひまわり畑は北海道の夏の見どころの一つです。北竜町の「ひまわりの里」では7月末から約1か月間、2万本のひまわりが見られる祭りが開かれます。お花がぎっしり詰まった畑を眺めていると、まるで熱狂する数万人の観客の前に立っている夏祭りの主人公になっているようでした。



麺料理の季節

韓国では「コングクス」が夏の始まりを告げる存在ですが、日本では中華料理屋の「冷やし中華」がそのようなものではないかと思えます。ラーメン屋さんでは温かいスープに麺をつけて食べる「つけ麺」、あるいは冷たいスープの「冷やしラーメン」を夏限定で提供します。

日本でも韓国料理のお店では冷麺が食べられますが、その形は韓国現地の冷麺とかなり違います。日本では、もちもちとした太い麺を入れた水冷麺の上にゆで卵やスイカ、丸く切った胡瓜などを載せた「盛岡冷麺」を韓国式冷麺と称しているからです。

また、この季節には「冷やし麺」がコンビニの陳列台を埋め尽くします。皆さんは「ラーメンサラダ」をご存知ですか？それは、札幌発祥と言われている冷製サラダです。学校の給食や居酒屋のおつまみなどでも人気がある道民のソウルフードであるため、北

海道ではコンビニでも購入できるほど一般的ですが、観光客の方には意外と知られていないようです。個人的には、野菜のシャキシャキとした食感とごまだれの香ばしさが楽しめるラーメンサラダも夏の食欲をそそる一品だと思います。



▲ 冷やし中華(上)、ラーメンサラダ(下)

気温も↗物価も↗

日本の食料品価格は、だいたい韓国より安いと思っていましたが、この物価も去年から上がっていることを実感します。冬には電気やガス代が上がり、「値上げの冬」という言葉が番組に登場し、今年に入って国際情勢などによる原材料費や物流費用の上昇によって、加工食品の値上げが相次ぎました。ついには40年間100円を固守してきた回転寿司チェーンまで値上げを発表するに至るなど、値上げラッシュが続いています。新型コロナウイルスの新規感染者の統計のように、値上げのニュースを頻繁に耳にするこの頃です。



国際交流員の夏の過ごし方



1



4



7



2



5



8



3



6



9

これまでコロナ禍で開催中止を余儀なくされていた様々なイベントが3年ぶりに開かれ、今年の夏は北海道を存分に楽しむことができました。

① 札幌市内の中島公園で開かれた「札幌まつり」に行ってきました。平日にもかかわらず、初日に14万人が押し寄せたそうです。

② 大通公園で開催された「よさこいソーラン祭り」を観覧しました。ダイナミックな音楽と派手な衣装、一体感のある演舞はとても見応えがありました。

③ 北海道マラソンに出場しました。他のイベントと同じく、マラソン大会も3年ぶりに開催されました。暑い日でしたが、市民の方々の熱い声援を受けながらフルマラソンを無事完走しました。

④ 恵庭市で開催された「ガーデンフェスタ北海道2022」に行ってきました。いい天気の中で色とりどりの花やステージイベントを見ながらのんびりと幸せな時間を過ごしました。

⑤ 北海道の大自然が感じられる名所である積丹町の「神威岬」に取材に行ってきました。この地域はコバルトブルーの海が広がり、「積丹ブルー」と呼ばれます。海だけでなく、尖っている岩も波打つようでした。

⑥ さっぽろ羊ヶ丘展望台のラベンダー畑でラベンダーを収穫しました。ここでは、市内の風景と同時にきれいなラベンダー畑と羊たちも見られるので、都市の中で自然に触れたいときに良いところだと思います。

⑦ 大通公園では北海道各地の美味しいものが勢揃いしたマルシェが開かれました。北海道にはワイン、日本酒だけでなく、個性豊かなクラフトビールの種類もたくさんあると感じました。

⑧ 夏限定のデザートを食べしてみました。日本では夏になると果物ゼリー、夕張メロンを載せたケーキや小豆で作った冷たいデザートが多く見られます。私は甘い「冷やししろこ」を食べました。

⑨ 札幌の夏の風物詩「さっぽろ大通ビアガーデン」に行ってみました。3年以上札幌に住んでいますが、行くのは初めてでした。区域ごとに雰囲気とテーマが異なるビアガーデンを楽しむことができ、面白かったです。

✓ 赤れんが通信
バックナンバーは
こちら



✓ 北海道庁
国際課
FACEBOOK



✓ 編集者・発行先 総合政策部 国際局 国際課
北海道札幌市中央区北3条西6丁目
TEL : +81-11-231-4111 FAX : +81-11-232-4303

